

常磐新線「つくばエクスプレス」

秋葉原からつくばまで、首都圏北東部を縦断するつくばエクスプレスが、いよいよ平成十七年八月二十四日開業します。

つくばエクスプレスの基本目的には、東京圏北東部の交通体系の整備、既設鉄道の混雑緩和、首都圏における住宅の供給の促進などがあります。

私はそのなかでも、沿線地域における社会産業基盤の整備と地域の活性化という事に大いに期待します。

秋葉原駅付近地区開発

平成の年号と共に、厳しい時代が到来しました。その一方で、新しい時代が幕開けしたように思えるのです。企業と大学が結びつく産業連携もその一つです。

つくばエクスプレスの開業で、沿線の大学や研究機関との交流が活発になり、次世代の価値観を若い方々に創造していただけたらな



青果市場跡に建設中のクロスフィールド

んで素晴らしいことでしょう。

秋葉原から生まれた情報通信が、インフラとして活用され、まったく新しいビジネスが展開されることと思います。

それは人の交流、情報の交流、産業の交流をテーマにした「秋葉原クロスフィールド」のコンセプトそのものです。

創造、生活、消費の街。秋葉原は昔も今も、そして未来に向けても、変わらず進化し続けていくことでしょう。

私が決めた職場「秋葉原」

携帯電話を片手に、街を闊歩する若者達で賑わう、昨今の秋葉原をながめる時、私はつくづく思うのです。六十年に渡る時代に起こったいくつかの大きなうねり、時の流れの速さ、秋葉原がこれほど変わるとは夢にも思いませんでした。

戦後の混乱の中で、自らこの街を職場として決めたことを誇りに思い、私は再びゆっくりとこの街を歩きます。

次代を担う経営者達が、厳しい時代を乗り越えて、この街この職場を守り通して欲しいと切に願いながら、以上、歴史のほんの一角マではありますが、ひとつの記録として読んでいただけたならば、大変うれしく思います。



現在の中央通り